



「LL紙パックリサイクル推進研究会」施設見学会を実施 エコプロダクツ 2018 において出展協力

LL紙パックリサイクル推進研究会の平成30年度後半の活動である施設見学会とエコプロダクツ2018についてご報告いたします。

■ 施設見学会 (平成30年10月30日)

当研究会では、毎年、LL紙パック（アルミ付き紙パック）をはじめとしたリサイクル関連施設への見学会を実施しています。平成30年度は会員企業をはじめとする28名が参加しました。

◆ 西日本衛材株式会社（兵庫県たつの市）

西日本衛材は1963年創業の再生家庭紙メーカーで、主にトイレットペーパー、タオルペーパーを製造しています。環境問題に積極的に取り組んでおり、兵庫県「環境にやさしい商品」指定、同「環境にやさしい事業者賞」受賞の他、ISO14001・ISO9001の認証取得をしています。また、機密書類を取り扱うことから「プライバシーマーク」を認証取得して

います。

以前は印刷工場などから出る産業古紙を主な原料としていましたが、1989年からアルミなし紙パックを、1992年からオフィスペーパーの処理を開始しました。西日本衛材で製造されるトイレットペーパーの原料の内訳は、紙パック類10%、産業損紙60%、オフィスペーパー・機密書類30%です。紙パックやオフィスペーパーは難再生古紙と言われ、異物を除去できる設備が整った工場でなければリサイクルできません。西日本衛材では、難再生古紙も処理できる設備を導入したことで、アルミ付き紙パックを含めた難再生古紙のリサイクルが可能になりました。

原料のうちトイレットペーパーになるのは70%、残りの30%は不純物です。その大半を占めるのはペーパースラッジです。これらは乾燥させた後に工場で使用する熱源の燃料として使用され、その灰はセメントの原料や土地改良剤、製鉄所での保温材な



[西日本衛材] トイレットペーパーのジャンボロール



[西日本衛材] 段ボールではなくクラフト紙で梱包



どにリサイクルされています。紙パックから剥離されたポリエチレンやアルミは外部に委託して RPF（固型燃料）にリサイクルされています。製造工程で使用される大量の水は、工場内で汚れを取り除いた水を繰り返し利用するなどして使用量を最小限にするとともに、瀬戸内の厳しい基準をクリアするように浄化した後に排水しています。

また、西日本衛材では産学連携による商品開発、高い印刷技術を生かしてキャラクターを印刷した商品製造、売上の一部を基金に寄付する社会貢献など、製品の付加価値を高めることにも注力しています。商品出荷時の梱包に段ボールではなくクラフト紙を使用していることは消費者に直接見えない部分での環境負荷削減の取り組みと言えるでしょう。

◆ 生活協同組合コープこうべ

鳴尾浜リサイクルセンター（兵庫県西宮市）

コープこうべは 1921 年に神戸購買組合・灘購買組合として誕生し、1991 年、創立 70 周年を機に生活協同組合コープこうべに名称変更しました。事業エリアは兵庫県全域、京都府京丹後市、大阪府北部で、店舗事業の他、協同購入、個人宅配、共済事業などを行っています。2013 年 9 月以降、太陽光発電を推進しており、2018 年 3 月末現在、今回見学した鳴尾浜配送センターの屋上に設置された太陽光パネルを含む 20 か所の太陽光発電所が稼働しています。こうした活動を発展させ、2017 年 4 月から組合員向け電気小売業「コープでんき」をスタートさせています。

コープこうべにおけるリサイクル活動は、店舗では 8 品目（紙パック、飲料缶(アルミ、スチール)、ペットボトル、ペットボトルキャップ、発泡トレイ、

透明トレイ、卵パック）を、宅配では 4 品目（紙パック、卵パック、商品カタログ「めーむ」、商品配達用ポリ袋）を回収しています。

紙パックの回収は「ものの命を大切に」のキャッチフレーズのもと、ごみの削減と資源の有効利用を目的に 1990 年の牛乳パックの回収からスタートし、組合員からの要望もあり、2013 年からアルミ付き紙パックの回収を開始しました。

店舗から回収した紙パックは商品の戻り便を活用し、鳴尾浜配送センターに集約され、同センター内の鳴尾浜リサイクルセンターで家庭ごみなどの異物を手作業で取り除き、アルミ付とアルミなしの紙パックを一緒に圧縮機でプレスし、1 個あたり約 800kg（1 リットル牛乳パック約 27,000 枚）の立方体の塊にします。静岡県内の再生家庭紙メーカーでトイレットペーパーにリサイクルしたものをコープこうべの店舗や宅配の商品として販売しています。異物除去から圧縮加工までの一連の作業は、兵庫県、阪神 7 市 1 町（尼崎・西宮・芦屋・伊丹・宝塚・川西・三田の各市と猪名川町）、コープこうべの第 3 セクター方式で設立した阪神友愛食品（株）の障がい者を含むスタッフにより行われています。



[コープこうべ] プレスされた紙パック

■ エコプロダクツ 2018

（平成 30 年 12 月 6 日～8 日）

日本最大級の環境展示会であるエコプロダクツ展（主催：一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社）が、12 月 6 日(木)～8 日(土)までの 3 日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催されました。「SDGs 時代の環境と社会、そして未来へ」をテーマに 538 社・団体が出展し、3 日間の入場者数は 162,217 人でした。



[コープこうべ] 工場内を見学



本年度も「集めて使うリサイクル協会/印刷工業会」ブースへの出展協力を行いました。このブースでは、一般的にはリサイクルが難しいとされている酒パックやアルミ付き紙パック（LL 紙パック）のリサイクル促進の啓発を目的とした展示をしています。どちらの紙パックもリサイクル可能であるにもかかわらず、必ずしもそのことが皆様に伝わっていないという共通の課題があります。

アルミ付き紙パックの特徴である「主な原料は紙」「アルミを使用しているため長期常温保存が可能になり食品廃棄物削減に繋がる」「トイレトペーパーやティシュペーパーなどにリサイクルできる」ことをわかりやすくお伝えし、少ないながらもアルミ付き紙パックを回収している自治体や小売店が増えてきている現状もお話ししました。展示パネルには「アルミ付き紙パックもリサイクルへ！」と大きく表示してリサイクルへの協力をお願いし、回収拠点検索サイトをお知らせするリーフレットやポケットティシュ、リサイクル事例集を配布しました。また、アンケートにご協力いただいた方には、飲み終わった後の紙パックを開くときに便利な三角オープナーを差し上げました。

ブースにいらっしゃった方にお話を伺うと、ほとんどの方はこれらのものを買ったり飲んだりしているとのことでした。内側がアルミであることをご存じの方が多くいらっしゃいましたが、リサイクルできることについての認知度はそれほど高くありませんでした。その一方で、「リサイクルはどうするのか疑問に思っていた」「住んでいる自治体では回収していないが、リサイクルできることは知っている」など、アルミ付き紙パックのリサイクルについて関心をお持ちの方もいらっしゃいました。アルミ

付き紙パックを回収しているスーパー名をお伝えしたり回収拠点を検索できるサイトを紹介したりすると、「今度スーパーに行ったときに回収ボックスを注意して見ます」「ぜひリサイクルに協力したい」などのご感想をいただきました。

飲み終わった後の LL 紙パックは貴重な再生紙原料となります。このことをより多くの方に知っていただき、リサイクルにご協力いただけるよう、引き続きウェブサイトやリーフレットなどによって情報発信をして参ります。ブースにお立ち寄りくださった皆様、ありがとうございました。



[エコプロ] 多くの方にご来場いただきました

再生可能な資源をより有効に利用するためのリサイクル促進に、皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。あわせて、LL 紙パックのリサイクル事例に関する情報がありましたら、お寄せください。

LL 紙パックリサイクル推進研究会

<http://ll-pack-recycle.org/>

座長 遠藤 雅人（森永乳業株式会社）



事務局

株式会社エコイプス 有間

東京都文京区音羽 1-15-15-313

TEL.03-6802-8041 FAX.03-6663-8880



[エコプロ] アルミ付き紙パックについてパネル展示

LL 紙パックリサイクル推進研究会 会則

平成 20 年 4 月 1 日 制定

平成 29 年 2 月 24 日最終改正

第 1 章 総則

(名称)

第 1 条 本会は、LL 紙パックリサイクル推進研究会と称する。

(事務所)

第 2 条 本会は、主たる事務所を東京都に置く。

(目的)

第 3 条 本会は、資源・エネルギーの有効利用を図り、循環型社会の形成に寄与することを目的に、LL 紙パックのリサイクルについて、調査・研究及び会員間の啓発を行うことを目的とする。

第 2 章 事業

(事業)

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 LL 紙パックのリサイクルのための調査・研究
- 二 LL 紙パックについての票情報普及・啓発
- 三 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

第 3 章 組織

(構成)

第 5 条 本会の正会員は LL 紙パックを利用もしくは製造する企業、団体（ホールディングス会社等の関連会社を含む）または LL 紙パックのリサイクルを実施もしくは推進している企業、団体とし、本会の目的に賛同し、所定の正会員会費を納入したものである。

2 本会の賛助会員は LL 紙パックリサイクルを実施又は推進している企業、団体（ホールディングス会社等の関連会社を含む）の中で、古紙回収業、再生紙製造業等に携わり、本会の目的に賛同し、所定の賛助会員会費を納入したものである。

(入会)

第 6 条 本会に入会しようとする者は、運営委員会の承認を得なければならない。

(退会)

第 7 条 会員が退会しようとするときは、事前に書面をもって座長に届け出なければならない。

(役員及び定数)

第 8 条 本会に次の役員等を置く。

座長 1 名 副座長 2 名 監事 1 名 運営委員（座長、副座長、監事を含む）5 名以上 10 名以内

(役員を選任・会務)

第 9 条 運営委員は正会員の自薦、他薦とする。

2 運営委員会において運営委員のうちから座長、副座長、監事を互選する。

第 10 条 役員会の会務を次の通り定める

- 一 座長は本会を代表し会務を統括する。
- 二 副座長は座長を補佐し、座長が会務に支障のあるときは、その職務を代理する。
- 三 監事は本会における各年度の会計報告を監査する。

(役員等の任期)

第 11 条 本会の役員等の任期は 1 年とし、再任を妨げない。退職・異動等の事情による任期途中の役員等の交代についてはお退任する委員が交代する委員を指名する。但し、交代により指名された委員の任期は、他の役員と同時に終了するものとする。

第 4 章 運営および会計

(事業年度)

第 12 条 本会の事業年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日とする。

(会員全体会議)

第 13 条 本会の事業運営に関し、運営委員会を経て決議した予算及び計画を会員に報告するため、会員全体会議を開催する。

- 2 会員全体会議は原則として年 1 回、座長が招集する。
- 3 会員全体会議の議長は座長が行う。但し、議長を副座長若しくは運営委員から座長が指名することが出来る。

(運営委員会)

第 14 条 本会の予算及び計画をはじめとする事業に関し審議するため、運営委員会を開催する。

- 2 運営委員会は原則として年 3 回、座長が招集する。但し、座長が必要と認めるときは、臨時運営委員会を招集することができる。
- 3 運営委員会の判断により、運営委員会内に各種部会をおくことができる。
- 4 運営委員会の議長については第 13 条第 3 項の規定を準用する。
- 5 運営委員会の成立には、委員総数の半数を超える委員が出席することを必要とする。やむを得ない事情で出席できない運営委員は、委任状の提出により、出席者の数に加えるものとする。

(会費)

第 15 条 会費は運営委員会において決議し、書面にて会員に通知する。

2 各会員は本会からの請求に基づき、期日までに会費を納入しなければならない。

(事務局)

第 16 条 本会に、事務を処理するため事務局を置く。

(会則の変更)

第 17 条 この会則に規定のないものの追加、会則の修正等が必要な場合は、運営委員会で検討の上、定める。会員全体会議にて会員に報告する。

附 則 この会則は平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この会則は平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この会則は平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この会則は平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この会則は平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 この会則は平成 28 年 5 月 18 日から施行する。

附 則 この会則は平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

No.	区分	会社名/団体名	No.	区分	会社名/団体名
1	正会員	株式会社伊藤園	17	正会員	大日本印刷株式会社
2	正会員	カゴメ株式会社	18	正会員	東京製紙株式会社
3	正会員	キッコーマン飲料株式会社	19	正会員	凸版印刷株式会社
4	正会員	キリン株式会社	20	正会員	日本製紙株式会社
5	正会員	熊本県果実農業協同組合連合会	21	正会員	日本テトラパック株式会社
6	正会員	ゴールドバック株式会社	22	正会員	北越パッケージ株式会社
7	正会員	四国化工機株式会社	23	正会員	ウエストロックアジア株式会社
8	正会員	名古屋製酪株式会社	24	正会員	印刷工業会
9	正会員	日世株式会社	25	正会員	一般社団法人全国清涼飲料連合会
10	正会員	株式会社ふくれん	26	正会員	日本豆乳協会
11	正会員	マルサンアイ株式会社	27	正会員	一般社団法人日本乳業協会
12	正会員	株式会社明治	28	賛助会員	コアレックス信栄株式会社
13	正会員	森永乳業株式会社	29	賛助会員	株式会社日誠産業
14	正会員	株式会社ヤクルト本社	30	賛助会員	丸富製紙株式会社
15	正会員	雪印メグミルク株式会社	31	賛助会員	株式会社山田洋行商店
16	正会員	石塚硝子株式会社	32	賛助会員	株式会社米田商店